

## 台湾 輸出者向けガイド(抜粋)

米国農務省GAINレポート 2025年6月20日

これは米国農務省海外農業局台北農業貿易事務所が作成した「輸出者向けガイド年次報告書」の要旨及びファクトシートを翻訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

### 要旨

台湾では農地が限られているため、農産物の輸入に大きく依存している。2024年には38億ドル相当の食品と農産物を輸入し、米国の農産物の貿易相手として8位にランクされた。この好調な実績は、台湾の高い可処分所得と米国産飲食物品に対する消費者の好意的な認識に支えられている。このレポートは、台湾市場について検討する米国の食品輸出業者にとって実用的なガイドとなるものである。

### ファクトシート

#### 要約

台湾は、8,040億ドルのGDPを有する高所得経済圏である。耕作可能地が限られ農業部門が小規模であるため、食品と農産物を輸入に大きく依存しており、世界の農産物市場における主要な輸入者である。米国産農産物の貿易相手として第8位にランクされる台湾は、2024年に米国から38億ドルの農産物及び関連製品を輸入し、これは台湾の総輸入市場の20.94パーセントを占めている。

#### 消費者向け農産物の輸入

台湾は2024年に21億ドルの消費者向け農産物を米国から輸入し、これは消費者向け農産物の輸入額全体の22.72%を占めた。上位の品目は、牛肉、果実、鶏肉、乳製品、ナッツ類等であった。

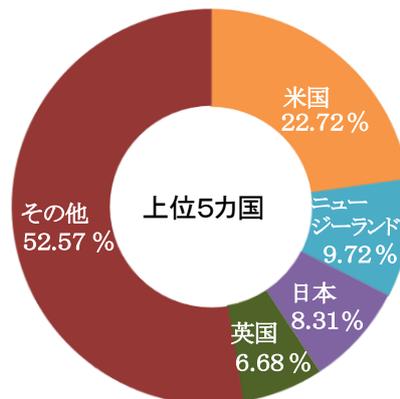


図1: 台湾への消費者向け農産物上位輸出国

#### 食品小売業

台湾の2024年の飲食物品小売販売額は89億ドルであった。この数字は、コンビニエンスストアの密度が世界第2位であり、台湾全体で1万店舗を超えていることによって達成された。電子小売商取引は活況を呈しており、スーパーマーケットは生鮮食品や農産物を提供するためにウーバーイーツ等のフードデリバリーサービスと協力することが増えている。

#### 食品加工業

台湾の食品加工業は2024年に305億ドルの加工飲食物品を製造し、これは製造業全体の付加価値の4.9%を占めた。消費者の利便性に対する志向と、健康的で安全な食品への関心の高まりの影響を受け、業界は簡単に調理できる食品や健康的なオプション及びクリーンラベルの開発に力を入れている。

#### フードサービス

台湾の外食産業の2024年の収益は315億ドルに達した。この業界では、着席式のレストランよりもテイクアウト方式の施設の方が成長している。

## クイックファクト 2024暦年

<p><b>消費者向け農産物の輸入額</b> 21億米ドル</p> <p><b>伸び率の大きい消費者向け輸入農産物上位品目</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>牛肉</li> <li>家禽</li> <li>ミルク及びチーズ</li> <li>生鮮果実</li> <li>ナッツ類</li> <li>生鮮野菜</li> <li>魚介類</li> <li>ペットフード</li> <li>植物性タンパク質</li> <li>コーヒー(焙煎したもの)</li> </ul> <p><b>流通経路別食品産業の構成</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">食品小売業</td> <td style="text-align: right;">89億ドル</td> </tr> <tr> <td>フードサービス(HRI)</td> <td style="text-align: right;">315億ドル</td> </tr> <tr> <td>食品加工業</td> <td style="text-align: right;">345億ドル</td> </tr> <tr> <td>食品・農産物の輸出額</td> <td style="text-align: right;">58億ドル</td> </tr> </table>	食品小売業	89億ドル	フードサービス(HRI)	315億ドル	食品加工業	345億ドル	食品・農産物の輸出額	58億ドル	<p><b>台湾の小売業者上位10社</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セブンイレブン</li> <li>ファミリーマート</li> <li>PXマート</li> <li>新光三越</li> <li>コストコ</li> <li>遠東百貨(ファーイースタン)</li> <li>モモ</li> <li>崇光百貨(そごう)</li> <li>カルフルー</li> <li>PCホーム</li> </ul> <p><b>GDP/人口</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口: 2,340万人</li> <li>GDP: 8,048億9千万ドル</li> <li>1人当たりGDP: 3万4,430ドル</li> </ul> <p>出典: 台湾統計庁、台湾經濟部、台湾農業部、国際通貨基金(IMF)</p>
食品小売業	89億ドル								
フードサービス(HRI)	315億ドル								
食品加工業	345億ドル								
食品・農産物の輸出額	58億ドル								

## SWOT分析

<p><b>強み</b></p> <p>米国は依然として消費者向け農産物の主要供給国であり、引き続き堅調な成長の可能性を示している。</p>	<p><b>弱み</b></p> <p>多くの米国企業は、高価値製品の少量出荷や混載貨物の利用に消極的であり、小規模な輸入業者の市場アクセスを制限している。</p>
<p><b>機会</b></p> <p>ファーストフードチェーンやカジュアルダイニングレストランの成長が進んでおり、食品原材料の消費が増加している。</p>	<p><b>脅威</b></p> <p>台湾との自由貿易協定(FTA)締結国がより低コストで製品を提供できることが、輸入業者の米国製品購入意欲を削いでいる。</p>